

2. 尾花沢地区

(1) 尾花沢地区の地勢と人口の推移

尾花沢地区は、北部に細長く広がる牛房野と田沢、南部に開かれた尾花沢盆地の都市計画区域、隴気、横内、五十沢に分かれています。

北部は北西へと細長く伸びる牛房野川沿岸の平野・段丘上に田沢、牛房野川が北沢川と分かれる上流に牛房野の集落や農地が形成されており、南部は、丹生川と隴気川の平野・段丘上の北側に良好な農地、中央の市街地、東の丘陵(長根山)と湖(徳良湖)、南側の農地及び丘陵により形成されています。

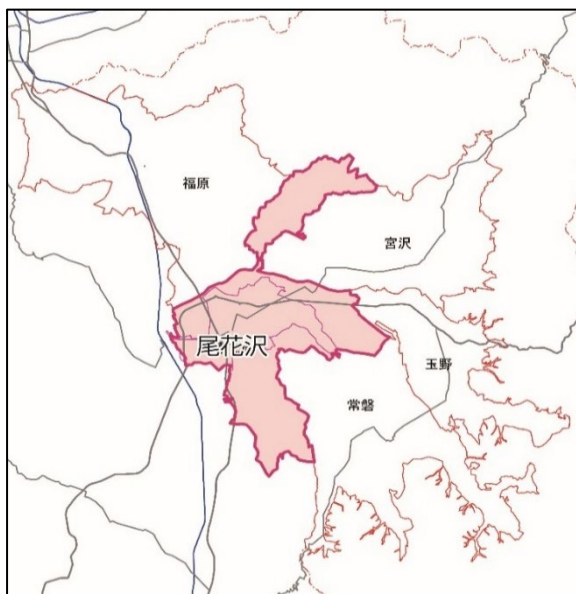


図 尾花沢地区位置図

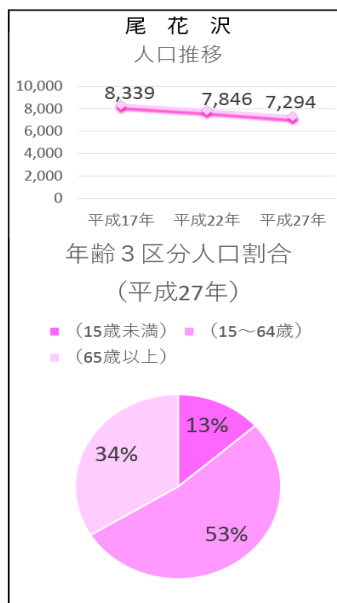


図 人口推移と年齢3区分人口

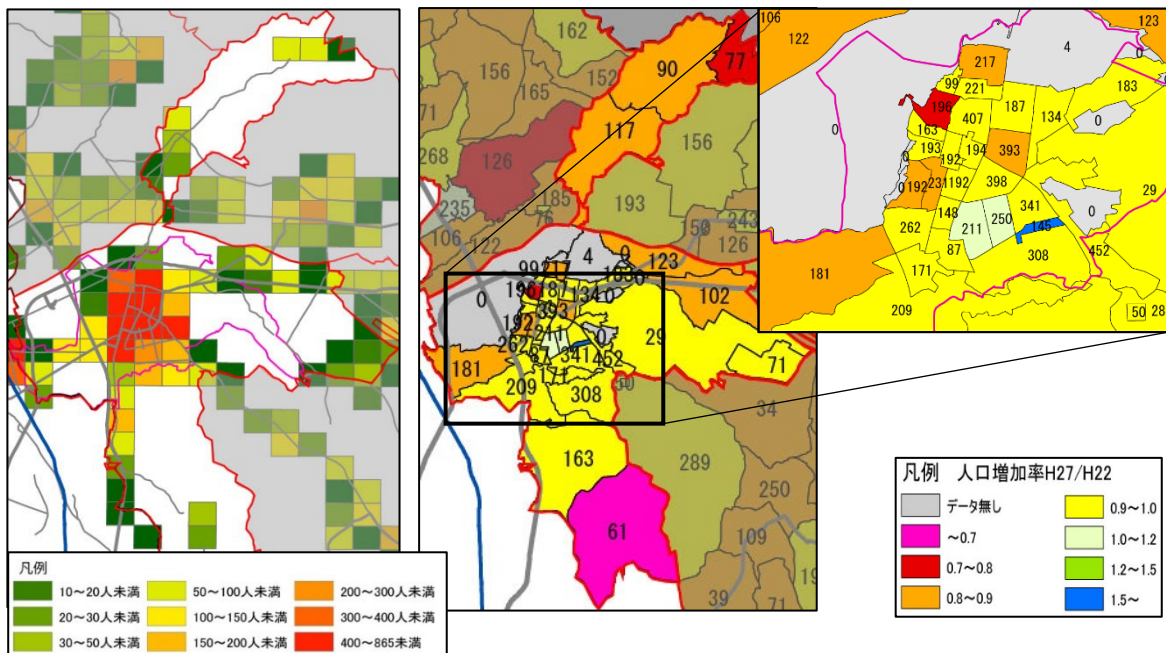


図 500m人口メッシュ

図 人口増加率

<人口推移の状況>

尾花沢地区は5地区の中でもっとも人口の減少率(H27/H17)が低くなっており、市役所を中心とした若葉町周辺では人口が増加しています。しかしながら山間部の五十沢、牛房野においては人口の減少が進んでいます。

(2)尾花沢地区の特性と現況について

(尾花沢地区の特性)

・尾花沢地区には市役所、文化体育施設、学習情報センター、芭蕉、清風歴史資料館、保育施設、教育施設(小中高)、医療福祉施設、商業施設などがあり、それを囲むように居住エリアが広がっています。市役所を中心に一定の都市機能の集約がみられ、他地区からの公共交通ネットワークについても利用者のニーズに合わせ維持が図られています。近年、市街地においても空き家や空き地が増加傾向にあり、大きな問題となっています。また、小学校や診療所等の公共施設の老朽化が進んでおり、公共施設の最適配置についても検討を進めています。

(主要施設・交通インフラ・自然環境・防災)

- ・市街地には、共同福祉施設、中心商店街活性化センター、市役所、学習情報センターなどがあり、市民が集うための施設が多く立地しています。
- ・東北中央自動車道尾花沢 IC と国道 13 号尾花沢バイパス、一般県道東根尾花沢線(羽州街道)、一般県道尾花沢大石田線、一般県道鶴子尾花沢線などが整備され、隣接する大石田町に JR 奥羽本線の大石田駅があり、広域及び地域の交通の要所となっています。また、市役所から他4地区を繋ぐバス路線があり、他地区への移動が可能です。
- ・河岸段丘の上に市街地が広がり、丹生川沿いを中心に優良な農地が広がっています。長根山の緑や徳良湖の水辺等、市街地周辺には豊かな自然による景観が広がっています。また、牛房野川周辺にはホタルの群生が見られるなど、美しい水辺空間が形成されています。
- ・丹生川の沿岸や南端を流れる臈気川の沿岸の農地、東北中央自動車道尾花沢 IC 周辺や尾花沢橋(国道 13 号)周辺に浸水想定区域が広がっています。また、田沢や牛房野、五十沢の集落では土砂災害の危険性のある区域があります。

(3)まちづくりの目標と方針

●まちづくりの目標

「豊かな暮らしを支えるコンパクトシティの実現と各地区をつなぐまちづくり」



<まちづくりの方針>

- ①市街地と各地区を結ぶ交通ネットワークの利便性向上と公共施設の最適配置
- ②点在する空き地空き家の利活用による市街地の活性化
- ③徳良湖や尾花沢運動公園における豊かな自然環境の維持と機能性向上
- ④市街地における観光交流機能の強化
- ⑤主要道路の洪水浸水想定区域と地区内の土砂災害警戒区域に対する適切な防災対策

①利便性の高い交通ネットワークの形成と公共施設の最適な配置

・交通拠点である市役所を中心として、公共施設、商業施設、医療福祉施設が集積しており、尾花沢地区だけでなく各地区に住む人にとっても、利便性の高い都市構造になっています。今後についても、効果的で効率的な交通ネットワークの再編を進めるとともに、学校を始めとした老朽化が顕著な公共施設の最適配置を検討しながら、よりコンパクトで利便性の高いまちづくりを推進していきます。

②空き地空き家を活用した居住区域の再編と商店街の賑わいの創出、適正な公園の整備

・近年市街地においても空き地、空き家が増加しており、深刻な問題となっています。空き地の広さに応じて、住宅地として区画整備を進めるなどの居住区域の再編や空き家を活用した創業の支援などによる商店街の賑わい創出について検討を進め、市街地の再生を図ります。合わせて(都計)中央通り線を中心とした無電柱化事業の実現に向け、関係機関との協議を進めます。また、市民より要望の多い公園の整備についても、市民の利便性に配慮しながら積極的に取り組んでいきます。

③徳良湖、尾花沢運動公園の自然環境を活かした豊かな居住空間の形成

・徳良湖は、豊かな水と緑の環境を有し、周辺にはオートキャンプ場やレストラン、入浴施設等様々な施設が立地しています。今後も、花畑の整備を始めとした更なる魅力の向上に努め、市民の憩いの場としての機能と観光交流機能の充実を図ります。尾花沢運動公園についても、豊かな自然環境に配慮しながら、計画的な施設の更新を進め、公園としての機能向上を図ります。

④新たなゲートウェイ機能の整備と歴史文化を感じられる街並み整備の推進

・観光交流機能の強化を目的として、全線開通が間近に迫っている東北中央自動車道尾花沢IC周辺に新たなゲートウェイ機能の整備を検討します。また、歴史・文化拠点となっている

芭蕉、清風歴史資料館を中心に歴史文化を感じられる街並みの整備を進め、市街地への観光客誘導を図ることで、商店街の賑わいの創出を図ります。

⑤主要幹線道路の洪水浸水対策と土砂災害防止対策の継続的实施

- ・東北中央自動車道尾花沢 IC 周辺を中心に、洪水浸水区域が広がっていることから、緊急輸送路としての機能が維持されるよう関係機関と連携しながら適切な洪水浸水対策を進めます。また、五十沢、牛房野、田沢の土砂災害防止対策について関係機関と連携しながら、継続して実施していきます。

尾花沢地域構想図

